

3年	絵画	題材名	夢に向かって ～図法と素材を工夫して表そう～	17時間
----	----	-----	------------------------	------

1 指導目標【知 知識・技能 思 思考・判断・表現 態 主体的に学習に取り組む態度】

知	主題を表すために「図法」「素材」を活用することの効果を理解し、記述している。 主題を表すために「図法」「素材」を活用して、用具をいかして制作している。
思	主題を基に、「図法」「素材」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「図法」「素材」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。
態	主題を表すために「図法」「素材」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見直しをもって表そうとしている。 主題を表すために「図法」「素材」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。

2 題材を通して意識させたい基礎的な知識・技能「工夫ポイント」

「図法」「素材」

3 題材の指導計画（17時間完了）

場	時	主な学習活動	指導上の留意点
つかかむ場	①	題材をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本題材が自分の将来の夢や目標に考えを巡らし、達成したい自分像を表現していくものであることを伝える。 ○ 一点透視図法や空気遠近法を用いて奥行きのある風景を描かせ、「図法」を用いることによって奥行きのある表現へと変わることを学ばせる。
	②	「図法」を学ぶ	
	③	「素材」を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二点透視図法や、網目模様などを用いて非現実的な世界を描かせ、図法を用いた表現の多様さを学ばせる。
	④	主題を生み出す	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な素材について考えさせ、その質感や与える印象の違いに気付かせる。 ○ 今の自分に思いを巡らせ、生み出させた主題をワークシートに記述させる。
追求する場	⑤	発想する 【拡散的思考】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生み出した主題を基に、「図法」「素材」を活用させながら、複数のアイデアスケッチを発想させる。 ○ 発想の途中で参考作品などを示し、「図法」「素材」の活用の仕方に気付かせた上で、活用の仕方を変えて複数のアイデアを考えることができているかを問い掛けることで、新たなアイデアスケッチを発想することができるようにさせていく（「拡M①」）。 ○ 主題を表すために「図法」「素材」がどのように活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見直しをもたせていく（「拡M①」）。
	⑥	発想する 【拡散的思考】	
	⑦	中間鑑賞会 【拡散的思考】 構想する 【収束的思考】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発想されたアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる、中間鑑賞会を行う。主題が「図法」「素材」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、付箋紙に記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。 ○ 伝えられた意見を参考にさせながら、再度自分のアイデアスケッチの見直しをさせ、自分自身の思いと他者の意見を基に、最終的なアイデアを決定させる。 ○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、

	⑧		<p>どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの最終版の構想を練ることができるようにさせていく（「収M①」）</p> <p>○ 決定したアイデアスケッチに、主題を表すためにどのように「図法」「素材」が活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「収M②」）。</p>
	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	本制作をする 【収束的思考】	<p>○ 主題を表すために用具をいかして作品を制作させる。</p> <p>○ 表現を振り返りながら見通しをもちやすくするために、小グループの隊形で制作をさせ、いつでも互いの作品の鑑賞や、意見交換をできるようにさせる。</p> <p>○ 本制作の作品に、主題を表すために「図法」「素材」をどのように活用しているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら見通しをもたせていく（「収M②」）。</p> <p>○ 制作途中に友達の作品の鑑賞を促し、主題を表すための「図法」「素材」の活用の仕方や、用具のいかし方などを見付けさせ、それを基に表現を振り返らせながら見通しをもって表現させていく（「収M②」）。</p>
ふりかえる場	⑰	最終鑑賞会を行う	<p>○ 本制作をして完成した自他の作品を鑑賞させる最終鑑賞会を行い、主題を表すために「図法」「素材」を活用していくことがどのように効果的だったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</p> <p>○ 題材全体を振り返らせ、主題を追求していくにあたって、アイデアスケッチを複数発想したり、中間鑑賞会での意見交換を参考に構想を練ったり、主題を表すために「図法」「素材」がどのように活用されているかを振り返りながら本制作をしたことが、主題を実現することにつながったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。</p>

4 評価基準表

時 場	主な学習の活動	評 価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① ② ③ ④ つか む 場	○ 「図法」「素 材」を学ぶ ○ 主題を生み 出す	A	「図法」「素材」の 効果を理解し、具体的 に記述している。	/	「図法」「素材」を意識し、 試行錯誤を繰り返して、表現を 振り返りながら見直しをもって 表そうとしている。 「図法」「素材」を意識し、 様々な作品の工夫を見付け、感 じ取ったことを基に表現を振り 返ろうとしている。
		B	「図法」「素材」の 効果を理解し、記述し ている。		「図法」「素材」を意識し、 試行錯誤を繰り返して表そうと している。
		方 法	・ワークシート		・活動の様子 ・ワークシート
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 追 求 す る 場	○ 発想し構想 を練る	A	「図法」「素材」を 意識し、それらの活用 の仕方が伝わるように、 用具をいかして丁寧に アイデアスケッチを制 作している。	/	A 主題を表すために「図法」 「素材」を意識し、試行錯 誤を繰り返して、表現を振 り返りながら見直しをもっ て表そうとしている。 主題を表すために「図法」 「素材」を意識し、様々な アイデアスケッチや作品の 工夫を見付け、感じ取った ことを基に表現を振り返ろ うとしている。
		B	「図法」「素材」を 意識し、それらの活用 の仕方が伝わるように アイデアスケッチを制 作している。		主題を基に、「図法」「素材」 のいずれかを活用して、アイ デアを発想し構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑 賞し、「図法」「素材」につい ての活用の仕方のよいところ を見付けている。
		方 法	・ワークシート		・ワークシート
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ 追 求 す る 場	○ 本制作をす る	A	主題を表すために、 「図法」「素材」を活 用して、用具をいかし て制作している。	/	B 主題を表すために「図法」 「素材」を意識し、試行錯 誤を繰り返して表そうとし ている。 主題を表すために「図法」 「素材」を意識し、様々な アイデアスケッチや作品の 工夫を見付けようとしてい る。
		B	主題を表すために、 「図法」「素材」のい ずれかを活用して、用 具をいかして制作して いる。		主題を表すために「図法」「素 材」がどのように活用されて いるかを鑑賞したり振り返り し、具体的に記述している。
		方 法	・作品 ・ワークシート		・ワークシート 方法 ・活動の様子 ・ワークシート
⑰ ふ り か え る 場	○ 最終鑑賞会 を行う	A	主題を表すために「図 法」「素材」を活用す ることの効果を理解し、 記述している。	/	「図法」「素材」を意識し、 様々な作品の工夫を見付け、感 じ取ったことを基に表現を振り 返ろうとしている。
		B	主題を表すために「図 法」「素材」のいづれ かを活用することの効 果を理解し、記述して いる。		自他の作品を鑑賞し、主題を 表すための「図法」「素材」の 活用の仕方を見付け、具体的な 文章で記述している。
		方 法	・ワークシート		・ワークシート 方法 ・活動の様子 ・ワークシート

3年	彫刻	題材名	主題から広がるアート ～ My Tree ～	17時間
----	----	-----	------------------------	------

1 指導目標【知 知識・技能 思 思考・判断・表現 態 主体的に学習に取り組む態度】

知	主題を表すために「形」「素材」を活用することの効果を理解し、記述している。 主題を表すために「形」「素材」を活用して、用具をいかして制作している。
思	主題を基に、「形」「素材」を活用して、アイデアを発想し構想を練っている。 自他の作品を鑑賞し、主題を表すための「形」「素材」の活用の仕方を見付け、具体的な文章で記述している。
態	主題を表すために「形」「素材」を意識し、試行錯誤を繰り返して、表現を振り返りながら見通しをもって表そうとしている。 主題を表すために「形」「素材」を意識し、様々な作品などの工夫を見付け、感じ取ったことを基に表現を振り返ろうとしている。

2 題材を通して意識させたい基礎的な知識・技能「工夫ポイント」

「形」「素材」

3 題材の指導計画（17時間完了）

場	時	主な学習活動	指導上の留意点
つかかむ場	①	題材をつかむ	○ 本題材が、3年生の自分自身の中にある今までの自分や将来の自分に対する思いを主題とし、粘土を中心とした様々な素材を用いて、木をモチーフとした立体作品で表現するものであることを伝える。
		「形」を学ぶ	○ 自分が中学校に入学した時の思いを基に、苗木をモチーフとして、形と模様を工夫して粘土で表す。
	②		○ 友達がつくった苗木を鑑賞させ、それぞれの形や模様から与えられる印象や効果に気付かせる。
	③	「素材」を学ぶ	○ 前時でつくった苗木に、より思いを表すものにするためにはどのように素材を組み合わせるのがいいかを考えさせ、素材を苗木に組み合わせさせる。 ○ 素材が組み合わせられた苗木を鑑賞させ、それぞれの素材やその付け方から与えられる印象や効果に気付かせる。
	④	主題を生み出す	○ 3年生の自分の中にある今までの自分や将来の自分に対する思いを基に、生み出させた主題をワークシートに記述させる。
追求する場	⑤	発想する 【拡散的思考】	○ 生み出した主題を基に、「形」「素材」を活用させながら、複数のアイデアスケッチを発想させる。
	⑥		○ 発想の途中で参考作品などを示し、「形」「素材」の活用の仕方に気付かせた上で、活用の仕方を変えて複数のアイデアを考えることができているかを問い掛けることで、新たなアイデアスケッチを発想することができるようにさせていく（「拡M①」）。 ○ 主題を表すために「形」「素材」がどのように活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「拡M①」）。
	⑦	中間鑑賞会 【拡散的思考】	○ 発想されたアイデアスケッチを基に、グループ内で意見交換を行わせる、中間鑑賞会を行う。主題が「形」「素材」を活用して表現されているかなどの意見交換させ、ワークシートに記述する活動を行わせることで、「工夫ポイント」の新たな活用の仕方に気付かせていく（「拡M②」）。

	<p>⑧</p>	<p>構想する 【収束的思考】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えられた意見を参考にさせながら、再度自分のアイデアスケッチの見直しをさせ、自分自身の思いと他者の意見を基に、最終的なアイデアを決定させる。 ○ 構想を練る際、中間鑑賞での友達の意見や気付いたことを、どのように取り入れるかを取捨選択するように促した上で、アイデアスケッチを見直させていくことで、より主題が表れるアイデアの最終版の構想を練ることができるようにさせていく（「収M①」）。 ○ 決定したアイデアスケッチに、主題を表すためにどのように「形」「素材」が活用されているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら表現の見通しをもたせていく（「収M②」）。
	<p>⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮</p>	<p>本制作をする 【収束的思考】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主題を表すために材料や用具をいかして作品を制作させる。 ○ 表現を振り返りながら見通しをもちやすくするために、小グループの隊形で制作をさせ、いつでも互いの作品の鑑賞や、意見交換をできるようにさせる。 ○ 本制作の作品に、主題を表すために「形」「素材」をどのように活用しているかをワークシートに記述させ、それを振り返らせながら見通しをもたせていく（「収M②」）。 ○ 制作途中に友達の作品の鑑賞を促し、主題を表すための「形」「素材」の活用の仕方や、材料や用具のいかし方などを見付けさせ、それを基に表現を振り返らせながら見通しをもって表現させていく（「収M②」）。
<p>ふりかえる場</p>	<p>⑰</p>	<p>最終鑑賞会を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本制作をして完成した自他の作品を鑑賞させる最終鑑賞会を行い、主題を表すために「形」「素材」を活用していくことがどのように効果的だったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。 ○ 題材全体を振り返らせ、主題を追求していくにあたって、アイデアスケッチを複数発想したり、中間鑑賞会での意見交換を参考に構想を練ったり、主題を表すために「形」「素材」がどのように活用されているかを振り返りながら本制作をしたことが、主題を実現することにつながったかを振り返らせ、ワークシートに記述させる（「拡・収RM」）。

4 評価基準表

時 場	主な学習の活動	評 価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
① ② ③ ④ つか む 場	○ 「形」「素 材」を学ぶ ○ 主題を生み 出す	A	「形」「素材」の効 果を理解し、具体的に 記述している。	/	「形」「素材」を意識し、試 行錯誤を繰り返して、表現を振 り返りながら見直しをもって表 そうとしている。 「形」「素材」を意識し、様 々な作品の工夫を見付け、感じ 取ったことを基に表現を振り返 ろうとしている。		
		B	「形」「素材」の効 果を理解し、記述して いる。		「形」「素材」を意識し、試 行錯誤を繰り返して表そうとし ている。 「形」「素材」を意識し、様 々な作品の工夫を見付けよう としている。		
		方 法	・ワークシート		・活動の様子 ・ワークシート		
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 追 求 す る 場	○ 発想し構想 を練る	A	「形」「素材」を意 識し、それらの活用の 仕方が伝わるように、 用具をいかして丁寧に アイデアスケッチを制 作している。	主題を基に、「形」「素材」 を活用して、アイデアを発想し 構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑 賞し、「形」「素材」につい ての活用の仕方のよいところを見 付けたり、アドバイスを伝えたり している。	A 主題を表すために「形」 「素材」を意識し、試行錯 誤を繰り返して、表現を振 り返りながら見直しをもつ て表そうとしている。 主題を表すために「形」 「素材」を意識し、様々な アイデアスケッチや作品の 工夫を見付け、感じ取った ことを基に表現を振り返 ろうとしている。		
		B	「形」「素材」を意 識し、それらの活用の 仕方が伝わるようにア イデアスケッチを制作 している。			主題を基に、「形」「素材」 のいずれかを活用して、アイデ アを発想し構想を練っている。 友達のアイデアスケッチを鑑 賞し、「形」「素材」につい ての活用の仕方のよいところを見 付けている。	
		方 法	・ワークシート			・ワークシート	
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ 追 求 す る 場	○ 本制作をす る	A	主題を表すために、 「形」「素材」を活用 して、用具をいかして 制作している。	主題を表すために「形」「素 材」がどのように活用されてい るかを鑑賞したり振り返ったり し、具体的に記述している。	B 主題を表すために「形」 「素材」を意識し、試行錯 誤を繰り返して表そうとし ている。 主題を表すために「形」 「素材」を意識し、様々な アイデアスケッチや作品の 工夫を見付けようとしてい る。		
		B	主題を表すために、 「形」「素材」のい ずれかを活用して、用具 をいかして制作してい る。			主題を表すために「形」「素 材」がどのように活用されてい るかを鑑賞したり振り返ったり し、記述している。	
		方 法	・作品 ・ワークシート			・ワークシート 方 法 ・活動の様子 ・ワークシート	
⑰ ふ り か え る 場	○ 最終鑑賞会 を行う	A	主題を表すために 「形」「素材」を活用 することの効果を理解 し、記述している。	自他の作品を鑑賞し、主題を 表すための「形」「素材」の活 用の仕方を見付け、具体的な文 章で記述している。	「形」「素材」を意識し、様 々な作品の工夫を見付け、感じ 取ったことを基に表現を振り返 ろうとしている。		
		B	主題を表すために 「形」「素材」のい ずれかを活用すること の効果を理解し、記述 している。			自他の作品を鑑賞し、主題を 表すための「形」「素材」の活 用の仕方を見付け、文章で記述 している。	「形」「素材」を意識し、様 々な作品の工夫を見付けよう としている。
		方 法	・ワークシート			・ワークシート ・活動の様子 ・ワークシート	